

川上公民館だより



【令和8年1月号】



謹賀新年

★ ★ ★ 【休館日：年末年始 / ご利用時間：公民館9時～22時・図書室9時～20時】



「やさか じまんカルタ」作品展示のお知らせ



“やさか じまんカルタ”は、やさか地区在住の小中学生が地域の自然、歴史、建物、食べ物、言い伝えなどから地域の良さを見つけ、読み札と絵札を考えてカルタを作り紹介する取り組みです。

2月中にやさか各公民館及びショッピングセンター サラで作品を展示します。

作品を通して、今まで気づかなかった川上の良いところや坂下・山口の知らなかったことが発見できるかもしれません。ぜひ、ご覧ください。

※詳しくは川上公民館（Tel. 74-2111）までお問い合わせください。

主催：やさか地区公民館、やさか地区青少年健全育成推進市民会議



図書のご寄贈について

令和7年11月初旬に青少年健全育成推進市民会議川上支部様から、読書活動の推進と青少年健全育成の推進を図るため、やさかこども園・川上小学校・坂下中学校へ、それぞれの時期に合った絵本や児童書が寄贈されました。



サンタさんがやってきた!



12月19日（金）乳幼児学級でクリスマス会を開催しました。本物のモミの木に飾りつけをし、クリスマスのミニ工作をしました。

また、親子でリトミックを体験して、子どもたちはリズムに合わせて体を動かし、鈴や打楽器を上手に鳴らしていました。

クリスマス会の後半では、鈴の音とともにサンタさんが登場しました。サンタさんから一人ずつ名前を呼ばれて、プレゼントを受け取りました。

サンタさんと記念写真を撮ったり子どもたちがサンタさんに抱っこしてもらったりして、楽しいクリスマス会となりました。



【文化スポーツ施設等 年末年始休館日お知らせ】

令和7年12月27日（土）～令和8年1月5日（月）

*せせらぎ会館（図書室、会議室） *青年の家

令和7年12月28日（日）～令和8年1月5日（月）

*川上運動公園（テニスコート、グラウンド） *弓道場 *トレーニングルーム

*学校施設 川上小学校（体育館、グラウンド）



新刊図書

(一部紹介)



総理にされた男 第二次内閣 中山七里/著 NHK出版

売れない舞台役者・加納慎策が、病に倒れた内閣総理大臣・真垣統一郎の“替え玉総理”を秘密裏に務めることになって2年。素人ながらも忖度のない発想と国民に寄り添った熱意あふれる言動で世論を味方につけてきたが…。反響を呼んだ人気小説、待望の第2弾。

自然を編むかご 長谷川美知子/著 グラフィック社



庭に生えているもの、畑でいつも捨ててしまっているツル、じやまとされるワイヤープランツなど自然の材料で作るかご編みの作品集。かご作りにおすすめの植物の紹介や素材を採取してかごを編むまでに行きたい下処理などを分かりやすくまとめた一冊。



おしゃべりねずみ ゴル・ゴーン・ゾラ 小森香折/作 平澤朋子/絵 偕成社

ある大きな街に、人間の言葉をしゃべる子ねずみのきょうだいゴル、ゴーン、ゾラが住んでいました。父の「チーズと自分は見うしなうな」との教えをむねに、人だすけをしたり、怪人ねずみとり男と対決します。



お月さまいつもありがとう メリッサ・スチュワート/文 ジェシカ・ラナン/絵 まつむらゆいこ/訳 福音館書店

地球上の生きものは、月にさまざまな影響を受けている。オサガメ、フンコロガシ、ライオン、海のサンゴなど…。月あかりの夜の風景に、やさしく、おだやかな言葉をそえた科学絵本。

【一般書】



- 「まる丸伊勢参り」
畠中恵/著 KADOKAWA
- 「本でした」
又吉直樹/著 ポプラ社
- 「どら蔵」
朝井まかて/著 講談社
- 「リクと暮らせば」
大崎梢/著 双葉社
- 「イン・ザ・メガチャーチ」
朝井リョウ/著 日経BP日本経済新聞出版
- 「これだけは知っておきたいうつ病」
藤野智哉/著 翔泳社
- 「図解眠れなくなるほど面白い米の話」
トキオ・ナレッジ/著 日本文芸社
- 「家庭菜園困ったときのQ&A」
藤目幸擴/著 農山漁村文化協会
- 「漫画サピエンス全史」歴史の覇者編
ユヴァル・ノア・ハラリ/原案・脚本 河出書房新社



【児童書・絵本】



- 「パッチーズ」
佐藤まどか/作 岩崎書店
- 「ちょっとだけともだち」
なかがわちひろ/作 のら書店
- 「どうなってるの？AI」
アレックス・フリス/文 ひさかたチャイルド
- 「嗅ぐのが楽しくなる鼻のひみつ」
今泉忠明/監修 創元社
- 「どうぶつすやすや」
たしろちさと/文・絵 大日本図書
- 「どんぐりず」
秦直也/作 講談社
- 「くまくんこぐまくんのおいもほり」
乾菜里子/作 文溪堂
- 「パンドロぼうとスイーツおうじ」
柴田ケイコ/作 KADOKAWA
- 「まきさんのソフトクリーム」
くどうれいん/作 岩崎書店

